

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題



第6回健康福祉大会を開催しました

10月15日、橘総合センターにおいて、第6回町民健康福祉大会を開催しました。

まずはマウンテンマウスのお二人によるミニコンサートで幕を開け、橘地区の保育園児の皆さんが「ちよび塩」ダンスを披露し会場を盛り上げました。

続いて「おくすりのこと、相談できますか?」と題して、㈱ジェンダーメデイカルリサーチ代表取締役社長の宮原富士子先生による講演が行われ、飲まずにたまった薬の整理をしてみることもや、整理を薬剤師に相談してみることも、また、病院などでの待ち時間を利用して、先生にどう伝えるかを整理しておくなどよいなどのアドバイスがありました。

また、館内では各種相談コーナーや測定コーナー、ちよび塩弁当の販売やうす味みそ汁や介護食の試食も行われ多くの人で賑わいました。



④マウンテンマウスの歌に合わせて元気いっぱい踊った「ちよび塩」ダンス。⑤相談コーナーや測定コーナーには大勢の人が詰めかけました。

安全フェスタで注意を呼びかけ

セーフティライフセミナーを開催しました

10月16日、しまとびあスカイセンターにおいてセーフティライフセミナーが開催されました。

これは、小松婦人会が地域の交通安全の意識を高めようと、山口県が行っている出前講座を活用し開催したもので、婦人会や関係者50名が受講しました。セミナーでは講師の県職員から県内の交通事故の状況や特徴について説明があったほか、注意配分力の診断テストなども行い「運転を行う際は一点に集中するのではなく常に注意を振り分けて」などのアドバイスがありました。



▶山口県警察音楽隊の演奏に合わせて花柳社中の皆さんが「安心安全ふるさと音頭」を踊り、防犯と交通安全を呼びかけました。

10月19日、橘総合センターにおいて、安全フェスタ in 大島が開催されました。

これは、子どもや高齢者をはじめとする地域住民を事件事故から守ろうと、柳井広域防犯対策協議会の主催で開催されたもので、会場には大勢の人が詰めかけました。

当日は「うそ電話詐欺」の寸劇や園児によるフラのステージで防犯などを呼びかけたほか、山口県警察音楽隊の演奏では趣向を凝らした啓発も盛り込まれ、訪れた人たちは迫力ある演奏に酔いしれました。

